



## 水の都の大阪市に面目一新の四ツ橋

水の都たる大阪市の情調を古來最もよく表象したるものは此の四ツ橋である、原始的な木造橋から次第に發達して、大阪都市計畫工事として近代的设计の下に築造された本橋は東京の樺島事務所的设计なるものである。鋼アーチは四橋とも徑間を異にし、一橋のうちでも片側づゝ徑間長を異にしてをるもの

がある、之は船行の便の爲めに斯くされたのであるが、此等の徑間は80呎乃至170呎までのもの各五種類のアーチから成つてをる。此等を一ヶ所に集めたるは他に類例のない模範的のもので稱される。……橋名、右は炭屋橋、右は上繫橋、左下は下繫橋、左上は吉野屋橋である。(本年二月號の寫眞参照)